

本時のねらい

修学旅行の事前学習として、旅行先の京都について、生徒一人ひとりが探究課題を設定し、タブレット PC を活用して調査し、発表する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

タブレット PC を活用して調査する活動を通して、自ら得た情報をまとめて活用する力（情報活用能力）を養い、探究的に学ぶことよさに気づくことをねらった。

個人で探究課題を設定し、インターネット上の情報を活用する活動を通して、自分で立てた課題に関する情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を養うことをねらった。

授業支援ソフト（Google Classroom）を用いて、個人の考えや意見を班活動のメンバーやクラス全体に共有することを通して、課題に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に学び合おうとする態度を育むことをねらった。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクター
- ・スピーカー
- ・授業支援ソフト（Google Classroom）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）
- ・ドキュメント作成ソフト（Google ドキュメント）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○京都についての動画を視聴する。 ○配付資料を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターで投影し、クラス全体で視聴する。 ・資料は Classroom を用いて、一人ひとりに配付する。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学習した京都の文化や SDGs とも関連させ、個人で探究課題を設定する。 ○探究課題を調査、整理する見通しをもつ。 ○他者が見たときにわかりやすいスライドを心がけて、表現を工夫して作成する。 ○各班で協働して 1 つのスライドを練り上げていく。 ○班の代表が、クラスの全体に向けて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット検索の方法を説明し、必要な情報を得ることができるようサポートする。 ・事前に見本のスライドを作成し、情報活用のヒントを示しておく。 ・プロジェクターで投影する。 ・個人で作成していたスライドは Classroom を用いて、後日内容を確認する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のふりかえりをタブレット PC にまとめる。 ○次回は SDGs を中心に学習していくことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いて参考になったことや、班交流で気づいたことをまとめて共同編集の Google ドキュメントに書き込み、次回以降の学びにつなげていく。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 個人でスライドを作成している場面



写真 2 タブレット PC を用いて、班で交流している場面



写真 3 作成したスライドを、プロジェクターを用いて黒板に映し、全体に向けて発表を行っている場面

児童生徒の反応や姿容

- ・タブレット PC を活用して、今まで知らなかった京都の魅力に迫ることができ、さらに学びたいという意見が出され、生徒の学び意欲が高まった。
- ・インターネット上にあるたくさんの情報から、有益で信頼できる情報を選択し、探究していくことの大切さを意識することができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレット PC を活用して自分が設定した課題に迫ることで、一人ひとりが課題意識をもって探究的な学習を進めることができた。また、作成したスライドを共有して意見交流をすることで、協働的に学び合うことができ、調べたことが広がったり深まったりして、学び意欲の向上につながった。